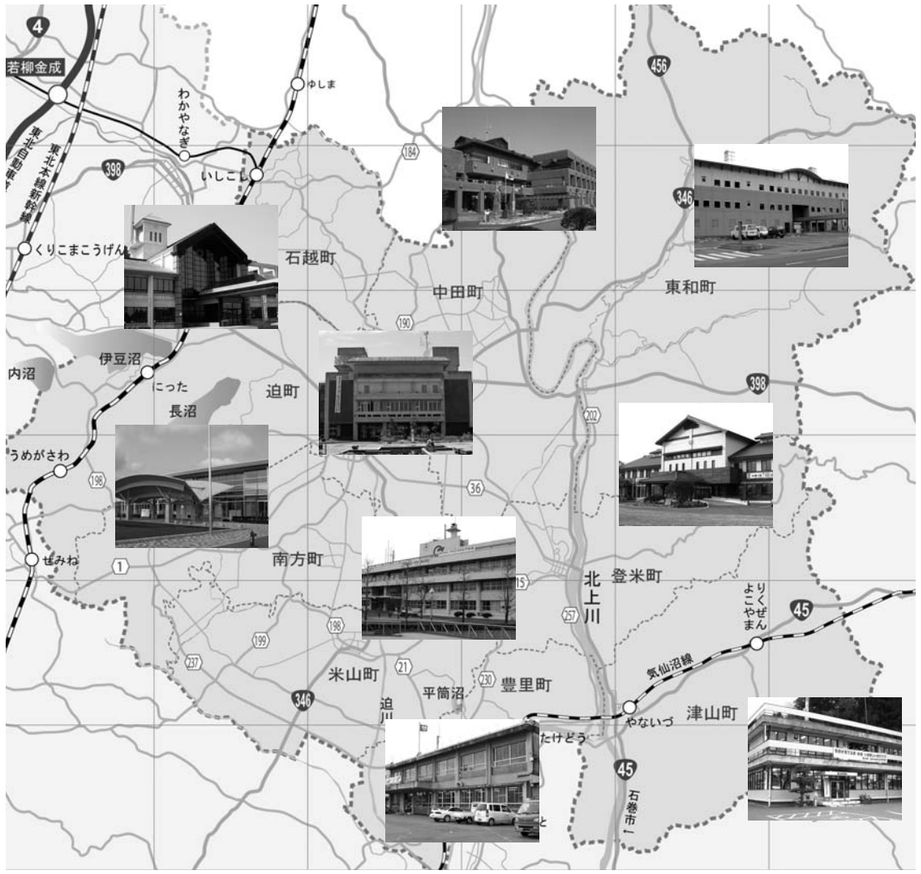
機構改革

総合支所組織を見直し 市民サービスの向上へ



市民サービスを的確に、そして遅滞なく提供することが可能となる支所を目指すため、9月1日付けで総合支所の機構を見直しました。

総合支所は、地域の総合的窓口や相談業務などを担当する重要な役割を担っている組織です。

今回の機構改革は、限られた職員で効果的・効率的な運営を目指し、現在の「3課7係」体制を「2課4係」とし、弾力的な職員配置や事務配分ができるようにしました。

また、総合支所などの窓口サービスを拡充し、

①昼休み時間帯（正午～午後1時）における職員の重点配置（9月から実施）

②窓口の開庁時間を延長する曜日の設定（10月から試行）

③年末や年度末などの週休日における窓口の開庁（年末から試行）

を行います。

組織の見直し

組織の見直しは次のとおりです（次頁【図1】）。

■地域生活課〔旧総務課、市民福祉課の一部、産業建設課〕

①地域係

旧総務課総務係と地域振興係の仕事は、基本的に現行どおりとし、これに加え旧市民福祉課市民係の仕事のうち、環境衛生、交通防犯、市税などに関する事務も担当します。

また、消防防災関係事務については、総合支所の役割を拡充します。

②産業建設係

旧産業建設課産業係と建設係の仕事は、現行どおりとします。

■市民福祉課〔旧市民福祉課（一部を除く）〕

①市民福祉係

旧市民福祉課福祉係の仕事は、現行どおりとし、これに加え旧市民係の仕事のうち、窓口業務として住民基本台帳、戸籍、国民年金、医療費などに関する事務を担当します。

②健康づくり係

旧市民福祉課保健係の仕事を現行どおり担当します。

窓口サービス業務の拡充

総合支所などにおいて、住民票や各種諸証明などの交付に関し、窓口利用者の待ち時間を短縮するため、昼休み時間帯（正午～午後1時）の職員配置について、重点的な対応を今月から行います。

また、曜日を特定し、窓口の開庁時間を延長する日の設定を10月から試行します。

さらには、住民異動の届け出が集中する年末や年度末などの週休日の窓口開庁も試行するなど、窓口サービス業務を拡充します。

組織の見直しによる職員の人事異動

今回の組織見直しによる職員人事異動が、9月1日付けで発令されました。

人事異動後における全職員の配属先は、広報とめ36号（市政だより9月21日発行）で担当部署の電話番号や配置図と併せて紹介する予定です。

【図1】組織見直しによる総合支所各課各係ごとの仕事内容

課	係	主な仕事内容
地域生活課	地域係	公有財産の管理など
		土地、建物の貸し付け
		支所庁舎の維持管理
		消防、地域防災
		選挙事務
		支所の庶務
		地域審議会
		地域づくり、地域活性化
		地域イベントの実施
		国内交流・地域出身者交流
		環境保全、公害対策、ごみ、衛生組合など
		交通安全、防犯、暴力団追放
		市民税、固定資産税、軽自動車税など
	産業建設係	地域農政、林業振興、地域商工業
		道路、河川の維持管理に係る現地確認・指示
		道路占用・公共物使用管理
		道水路の境界確認
		市営住宅の維持管理
市民福祉課	市民福祉係	国民年金、老齢福祉年金など
		戸籍、住民基本台帳、印鑑登録
		国保資格、療養費等給付、医療費助成など
		介護保険
		民生・児童委員
		日赤、社会福祉団体、戦没者遺族など
		生活保護
		児童福祉、母子福祉、保育所
		身体障害者福祉、知的障害者福祉、精神障害者福祉
		障害者自立支援
		高齢者福祉
	健康づくり係	健康づくり、生活習慣病予防、栄養改善
		母子保健、精神保健、歯科保健
		結核予防、感染病予防、予防接種
		献血推進
		介護予防
	出張所	住民異動、年金など
		諸証明の発行

※仕事の内容は主なものを掲載しています。

愛称は「るるぱ」 南方住民情報センターの愛称が決定

布施市長から記念品を受け取る遠藤さん

南方住民情報センターの愛称を7月1日から25日まで公募したところ、市内外から42点の応募があり、「愛称募集選考委員会」で選考し、**「るるぱ」**に決定しました。採用されたのは迫桜高1年の遠藤隆博（たかひろ）さん（迫町）の作品。住民情報センターの施設について、「見る」「知る」「調べる」「分かる」など、「る」が付く言葉が連想されるほか、「ぱっ」と情報が得られるというイメージが浮かんできます。表現的にもかわいらしい愛称なので、子どもから大人まで幅広く親しみを感じられる作品になっています。表彰式は8月24日、市役所迫庁舎で行われ、遠藤さんに2万円相当の記念品が布施市長から贈られました。